

2 人口動態

①自然動態

(単位:人)

年次	区分	出生			死亡			増減		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
平成11年	旧水海道	350	182	168	370	219	151	△ 20	△ 37	17
	旧石下	277	—	—	202	—	—	75	—	—
平成12年	旧水海道	341	188	153	350	189	161	△ 9	△ 1	△ 8
	旧石下	258	—	—	179	—	—	79	—	—
平成13年	旧水海道	345	172	173	368	209	159	△ 23	△ 37	14
	旧石下	267	—	—	197	—	—	70	—	—
平成14年	旧水海道	316	154	162	367	199	168	△ 51	△ 45	△ 6
	旧石下	256	—	—	187	—	—	69	—	—
平成15年	旧水海道	345	166	179	415	237	178	△ 70	△ 71	1
	旧石下	282	—	—	216	—	—	66	—	—
平成16年	旧水海道	309	168	141	417	218	199	△ 108	△ 50	△ 58
	旧石下	265	—	—	190	—	—	75	—	—
平成17年	旧水海道	321	175	146	442	235	207	△ 121	△ 60	△ 61
	旧石下	225	117	108	214	118	96	11	△ 1	12
平成18年	常総市	586	303	283	643	358	285	△ 57	△ 55	△ 2
平成19年	常総市	585	311	274	648	318	330	△ 63	△ 7	△ 56
平成20年	常総市	556	265	291	659	356	303	△ 103	△ 91	△ 12

②社会動態

(単位:人)

年次	区分	転入			転出			増減		
		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
平成11年	旧水海道	2,059	1,074	985	1,925	993	932	134	81	53
	旧石下	1,073	—	—	1,084	—	—	△ 11	—	—
平成12年	旧水海道	2,136	1,109	1,027	2,120	1,098	1,022	16	11	5
	旧石下	1,620	—	—	1,478	—	—	142	—	—
平成13年	旧水海道	2,311	1,160	1,151	2,031	1,002	1,029	280	158	122
	旧石下	1,489	—	—	1,314	—	—	175	—	—
平成14年	旧水海道	2,377	1,210	1,167	2,382	1,156	1,226	△ 5	54	△ 59
	旧石下	1,338	—	—	1,449	—	—	△ 111	—	—
平成15年	旧水海道	2,498	1,336	1,162	2,318	1,153	1,165	180	183	△ 3
	旧石下	1,574	—	—	1,306	—	—	268	—	—
平成16年	旧水海道	1,299	686	613	1,286	669	617	13	17	△ 4
	旧石下	1,424	—	—	1,377	—	—	47	—	—
平成17年	旧水海道	2,510	1,323	1,187	2,561	1,351	1,210	△ 51	△ 28	△ 23
	旧石下	1,410	739	671	1,527	784	743	△ 117	△ 45	△ 72
平成18年	常総市	3,523	1,887	1,636	3,848	2,062	1,786	△ 325	△ 175	△ 150
平成19年	常総市	3,566	2,007	1,559	3,700	2,041	1,659	△ 134	△ 34	△ 100
平成20年	常総市	3,580	1,949	1,631	3,397	1,865	1,532	183	84	99

資料:常住人口調査

③婚姻・離婚・死産

(単位:件)

年次	区分	婚姻	離婚	死産
平成11年	旧水海道	249	96	4
	旧石下	121	37	3
平成12年	旧水海道	242	85	13
	旧石下	165	53	2
平成13年	旧水海道	212	113	6
	旧石下	176	61	8
平成14年	旧水海道	231	103	5
	旧石下	161	54	3
平成15年	旧水海道	214	81	7
	旧石下	106	63	6
平成16年	旧水海道	231	72	11
	旧石下	124	47	6
平成17年	旧水海道	235	85	5
	旧石下	118	48	6
平成18年	常総市	360	117	8
平成19年	常総市	335	127	10
平成20年	常総市	336	143	15

資料:市民課

離婚率の低下が続く

離婚件数は、2007年に25.5万組、普通離婚率（人口1,000人当たり離婚数、以下「離婚率」という。）は2.02で、件数・率ともに前年より低下している。長期的に見ると離婚数は1960年の7万組から2002年の29万組へ4倍増、ピークに達して以降、年々減少している。一方、離婚率は、1960年(0.74)以降上昇傾向を継続し、2002年に2.3と過去最高を記録し、以降低下傾向にある。同居20年以上の熟年離婚の増加が顕著となっている。

女性の離別率は全年齢で男性を上回る

国勢調査の配偶関係別構造から見た5歳階級別離別率を見ると、男女ともに1985年に比べ2005年はすべての年齢階級で上昇しており、特に男性は、20～24歳と50歳～54歳以上の年齢階級で2倍の高さを示し、女性も20～24歳と45～49歳以降55～59歳までの離別率の高まりが著しい。1985年と2005年の両年次ともに、女性の離別率はすべての年齢階級で男性より高くなっている。

資料：（財）日本統計協会「統計でみる日本2009」抜粋